



夢風

YUMEKAZE

第133号（令和3年度 No.5）



みなさん、夢風ようこそ。

今号では、二学期の中心的行事である修学旅行と体育祭の様子を中心にお伝えします。



「夢風」は Web ページでも発信しています。 <http://www.toyotahigashi-h.aichi-c.ed.jp>



ニュース

News



● 修学旅行

10月8日（金）から10月10日（日）の2泊3日で、2年生が広島県・山口県へ修学旅行に行ってきました。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、行き先を台湾から国内に変更しての実施でしたが、充実した3日間を過ごすことができました。

1日目に訪れた原爆ドーム・平和記念資料館では、どの生徒も時間をかけて真剣に展示に見入っており、76年前の広島の人々に思いを馳せる姿が印象的でした。午後はフェリーに乗り、宮島へ移動しました。残念ながら、保存修理工事中の大鳥居は、ネットで覆われた状態でよく見られませんでした。土産物店をはじめ、もみじ饅頭や牡蠣のお店は、緊急事態宣言明けであいていて、多くの生徒が立ち寄りました。



2日目は、初めての試みとして、生徒たちが希望したコースに分かれて研修を行いました。Aコースは萩焼陶芸体験を行い、その後、レンタサイクルにて萩市内を散策しました。Bコースは下関・門司まで足を伸ばし、ふぐの調理体験・試食を行いました。Cコースは仙崎にある金子みすゞ記念館を訪れ、その後、青海島めぐりの遊覧船を楽しみました。Dコースは呉を訪れ、大和ミュージアム、てつのくじら館を見学し、お好み村で昼食をとりました。Eコースは、温井ダムにてカヌー・ラフトピクニック体験を行いました。

瓦屋根の白壁が続く萩市内の風景は、城下町のたたずまいが今日まで残っている様子を強く感じさせてくれます。早く宿に着いた生徒たちは、夕食まで白砂青松の海岸の風景を楽しみました。





最終日は、カルスト台地で有名な秋吉台を訪れ、展望台で写真を撮ったり、遠くまで歩いて散策したりと、思い思いに過ごしました。秋芳洞では約1キロのコースを歩きながら、まるで時間が止まったかのように感じる静けさの中、自然の造形の数々に、ただただ感動させられました。昼食では山口名物の「瓦そば」に舌鼓を打ち、修学旅行最後の自由時間には、お土産のレジに大勢の生徒が並びました。

幸運にも3日間とも天候に恵まれた良い修学旅行となりました。感染予防を心がけながら、この修学旅行を通して平和の大切さを学び、自然が織り成す景観に感動し、体験を共有することで人間関係を深めることができたように感じています。これらをよい学びとし、今後の高校生活に大いに生かしてもらいたいと思います。



● 体育祭

11月2日（火）、体育祭を実施しました。今年度は文化祭と同じ組み合わせで6つの団（紫、青、赤、黄、橙、緑）に分かれ、各団一丸となって優勝を目指して力を発揮しました。

今年度は体育委員を中心に種目の再検討を行い、新たに「ビックスティック」が導入されました。

競技の結果、紫団が優勝をつかみ取り、2位が緑団、3位が橙団となりました。学校祭で深まった絆を大切に、今後の学校生活を過ごしてほしいと思います。



● 名古屋グランパス・スポーツボランティア（サッカー部）

11月6日（土）豊田スタジアムにて、名古屋グランパスと柏レイソルの試合が行われ、本校サッカー部が座席案内やチラシ配りなどのボランティア活動を行いました。参加した生徒は「地元である豊田スタジアムで、大好きな名古屋グランパスに関係するボランティア活動ができて嬉しかった。とてもよい経験になった。」と感想を述べてくれました。



豊田東高校は、ユネスコスクールに加盟し、
ESD（持続可能な開発のための教育）を推進しています。